

# あくしょん

## コロナ禍における災害とボランティア

### ◆コロナ禍で変わる災害ボランティア活動

地球温暖化の影響から、毎年各地で災害が多発しており、那珂市においても令和元年台風19号災害によって、下江戸地区を中心に大きな被害を受けました。

近年災害が発生すると、多くの災害ボランティアが被災地へ駆けつけ、復旧活動に携わることが多くなっていますが、新型コロナウイルス感染症の影響によってその活動が大きく様変わりしています。コロナ禍における災害ボランティア活動は、県を超える移動は可能な限り避け市内や近隣市町村のボランティアを中心とした活動が基本となっています。そのため、複数の市町村で災害が発生した場合、市内における活動人材が非常に重要になります。



令和元年台風19号災害  
下江戸地区の様子

### ◆企業や団体の参加による復興活動

しかし、市内で活動する災害ボランティアだけでは継続的な活動は難しく、さまざまな人材の参加が必要になります。令和2年7月豪雨災害においては、近隣の災害ボランティアだけでなく、生協や企業、ライオンズクラブ・青年会議所、専門的な組織など多様な参画によって、復旧復興活動が行われました。こうした、災害時における活動は平時からのつながりがあってこそより力を発揮することが可能となります。

那珂市においては、市と社会福祉協議会の災害ボランティアセンターに関する協定をはじめ、那珂ライオンズクラブやひたちなか青年会議所との災害時協定を結ぶなど、災害時における連携体制の強化を進めています。また、毎年災害ボランティアに関する研修を実施し、継続的に災害への備えを進めています。



那珂ライオンズクラブとの  
協定書調印式の様子

## イベント情報

### 令和3年度『那珂市災害時ボランティア養成研修』参加者募集

新型コロナウイルス感染症の影響により、災害時において、外部からの支援を受けることが困難な状況となっています。災害への備えとして、災害時における地域の助け合い活動について学びつつ、同じ志のかたと話し合い、つながってみませんか。



【日時】 9/11 (土) 13:30~15:30

【受講方法】 ①会場での受講 (那珂市社会福祉協議会 会議室) …定員25名 (先着順)

→8/30 (月) ~9/8 (水) の期間に窓口・電話にて申込み

②Zoomでのオンライン受講…定員50名 (先着順)

→8/30 (月) ~9/8 (水) の期間に下記QRコードから申込み

【講師】 Nukiito 代表 **高山弘毅氏** (災害ボランティア活動支援プロジェクト会議委員)

※詳細は那珂市社協ホームページをご覧ください

### ◆問合せ先◆

社会福祉法人那珂市社会福祉協議会 総務・地域福祉グループ

電話 (029) 229-0309 URL <http://www.naka-shakyo.net>

Zoomによる  
オンライン参加者用  
申込みフォーム→



# NAP2030（額田活性化プロジェクト2030）

～住民の手で2030年の額田地区をより良い地域にするために～



5月から7月にかけて、額田地区に暮らす20代から70代の有志によって、額田の将来を考える「額田活性化プロジェクト2030(通称NAP2030)」が開催されました。

額田をより活性化し、多くの人に訪れてもらえるようにしたり、暮らし続けてもらえる地域にするため、何ができるのか参加者全員が積極的に意見を出し合いながら6回にわたって計画作りを進めてきました。

その中で、額田城跡の活用、額田ブランドの開発、歴史文化の伝承の3つのテーマにポイントを絞って、活動を進めていく方向性が打ち出され、今後具体的なアクションを起こすため準備を進めていく予定です。



参加されたかたみなさんは、休憩の時間も惜しんで話し合いを進め、毎回あっという間に時間が過ぎていきました。もちろん、多くの意見が出るということは、意見の相違が生まれますが、それを対話の中で整理し同じ方向へ向けていく丁寧な検討を進めました。

主催者である額田地区まちづくり委員会宮崎委員長から「額田地区は少子高齢化が進み、小学校の存続すら危ぶまれる状況になっています。今後、10年先を見据えてどうするか？ このまま成り行きで何もしく良いのか？と問うた時、何とか“元気のあるまち“にしたいとの思いから本プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトにより今後、実効性のある活動を展開していきたいと考えています。」と今後に掛ける想いをいただきました。

会議の進行には、日本ファシリテーション協会フェローの徳田太郎さんをお招きし、毎回活発な意見交換を通じて具体的なアクションプランづくりを進めることができました。

今回は、額田地区まちづくり委員会と社会福祉協議会がタイアップして取り組みを進めましたが、福祉に限らず広くまちづくりの視点話し合いを進めました。

この取り組みについて、興味関心があり地域内で取り組みを進めたいなどのご希望がありましたら、社会福祉協議会までお問い合わせください。また、本企画に関する経緯については、額田地区まちづくり委員会までお問い合わせください。



那珂市社会福祉協議会 特定事業推進室 (029) 229-0309  
 額田地区まちづくり委員会 事務局 (029) 295-6110



## イベント情報1

～改めて見直したい、セカンドライフデザイン～

# セカンドライフ“見直し”講座開催のお知らせ

近年、平均寿命の延伸により人生80年から人生100年時代へと突入してきております。年齢を重ねるにあたって、ライフデザインを改めて見直していくことが必要になります。

生きがいを持って、いつまでもいきいきと暮らしていくために、この機会に改めてこれからの暮らしを見つめ直してみませんか？

- ◆日時 令和3年 **9月15日(水)**  
**16日(木)** 各10:00~12:00
- ◆場所 那珂市役所瓜連支所分庁舎2階会議室(那珂市瓜連321)
- ◆内容 ①セカンドライフデザイン「**エンディングシート**」から第二の人生を考える  
講師 MKキャリアラボ 代表 菊池 美也子氏 さん  
②整理収納アドバイザーから学ぶ セカンドライフの「**整理収納のコツ**」  
講師 整理収納アドバイザー 塚本 英代 さん
- ◆対象 市内在住の60歳以上のかた 20名(先着順)  
※参加費無料
- ◆申込等 令和3年 **9月1日(水)~10日(金)**  
の間に**電話**でお申し込みください(定員になり次第締切)
- ◆申込・問い合わせ先  
社会福祉法人那珂市社会福祉協議会  
総務・地域福祉グループ  
電話(029)229-0309



## 茨城県からのお知らせ

### ◆「茨城県災害ボランティア活動支援基金」に係る寄附金の募集開始について

茨城県においては、議員提案による「茨城県災害ボランティア活動を支援し、促進するための条例」を令和2年12月18日に公布・施行するとともに、本年4月1日には、災害ボランティア活動への支援に関する寄附金を積み立てる「茨城県災害ボランティア活動支援基金」を設置し、ふるさと納税などにより広く県民や企業の皆様から寄附を募り、これを活用して、災害発生時にボランティアの方々が活動しやすい環境整備を図っていくことといたしました。

令和3年4月27日(火)より、当該基金に係る寄附の募集を開始していますので、お知らせいたします。

#### 1 基金の活用例

- 災害ボランティアセンターの運営支援のためのシステム整備等  
(例) 災害ボランティアの事前受付システム  
災害ボランティアと被災者ニーズとのマッチングのためのシステム
- 災害ボランティアの現地作業に要する用具等の購入  
(例) スコップなどの資機材購入経費
- 災害ボランティアの輸送  
(例) 送迎用バスの借上経費

#### 2 寄附金の受入方法について

- (1) 個人からの寄附  
クラウドファンディング等の方法で寄附ができます。
  - ① 「ふるさとチョイス」による申込み。
  - ② いばらき電子申請・届出サービスによる申込み。
  - ③ 寄附金申込書による申込み(郵送・FAX等)。
- (2) 団体・企業からの寄附
  - 寄附金申込書による申込み(郵送・FAX等)。

#### ◆申込み・問合せ先◆

茨城県保健福祉部福祉指導課地域福祉グループ  
住所:〒310-8555  
茨城県水戸市笠原町978番6  
TEL:029-301-3157  
FAX:029-301-6200  
E-mail:fukushi1@pref.ibaraki.lg.jp

基金特設サイトQRコード



# ボランティア・会員を募集しています

区分	名称・活動先	内容	日時	備考
団体	<b>那珂市母子寡婦福祉会</b> <b>会員募集</b> <b>問い合わせ先</b> 那珂市母子寡婦福祉会 会長 矢吹いつ子 電話295-3933	那珂市内の母子寡婦世帯 どうしによる情報交換やイ ベント等を通じて、世帯の 福祉の向上を目指していま す。	<b>◆活動日</b> 詳しくはお問いわ せください	高校生までのお子さ んのいる母子世帯のか た

## 食品寄付を募集しています

市内3か所に設置される「きずなBOX」では、皆さまからの食品寄付を随時募集しております。これら集められた食品は、ボランティアにより回収された後、フードバンク茨城を經由して、県内の生活にお困りのご家庭や福祉施設などに配布されています。

皆さまのご協力をお願いいたします。

### ■設置場所

- ・総合保健福祉センターひだまりロビー
- ・那珂市社会福祉協議会事務局（市役所瓜連支所分庁舎内）
- ・那珂市役所総合案内前

### ■お預かりする食品例

- ・主食となる食品（お米、保存米、インスタント麺、乾麺など）
  - ・すぐ食べられる食品（レトルト食品、魚缶、佃煮、魚肉ソーセージなど）
- ※未開封で常温保存可能な食品、賞味期限2か月以上のものに限りませ

### ■問合せ先

那珂市社会福祉協議会 総務・地域福祉グループ (029) 229-0309



## 本広報紙や那珂市ボランティア市民活動インフォメーションブログへの掲載記事を募集しています

市民活動団体活動のお手伝いを目的に、年4回（春・夏・秋・冬）広報紙を発行するとともに、随時ブログの記事更新をしています。会員募集や活動のPRなどにぜひお使いください。

- (1) 発行数：2,000部（市内各戸回覧・市民活動団体代表者・コミュニティセンターなどで配布します）
- (2) 発行時期：4月・7月・10月・1月（記事の状況により変動します）
- (3) 申込方法：電話・FAX・Eメールなどでご連絡ください（詳細は下記までお問い合わせください）

## 社会福祉法人那珂市社会福祉協議会

担当 総務・地域福祉グループ

那珂市瓜連321市役所瓜連支所分庁舎1F

電話(029)229-0309 Fax(029)296-1002

URL <http://www.naka-shakyo.net> Eメール [volunteer@naka-shakyo.net](mailto:volunteer@naka-shakyo.net)

那珂市社会福祉協議会Facebookページ <https://facebook.com/nakashakyo/>

ボランティア市民活動インフォメーションブログ <http://blog.canpan.info/nakavcasc/>

